

心の栄養剤N o 134 【 道 】

戦後教育によって、日本に「仕事とは契約」という西洋流の考え方が浸透しました。もちろんその労働観が悪いわけではありません。

しかし、私たちが幸せに生きるためには、「**自分の時間を誰かの喜びに変える**」という日本人らしい労働観を取り戻すことが大切なのではないでしょうか。

人間が感じる幸せは3段階あるといます。**1段階目は「人から何かをしてもらう」**幸せ、**2段階目が「できる」**幸せ。そして最高の幸せは「**誰かに何かをしてあげた**」、つまり「**自分が誰かの役に立てた**」「**自分が誰かに喜んでもらえた**」という幸せなのだそうです。

東日本大震災のとき、世界一の支援を送ってくれたのは台湾です。日本赤十字社が把握しているだけで義援金は200億円を超え、支援物資は400トン以上。

それは世界中から届いた支援の約3分の1を占めますが、実は日本赤十字社を介さずに送ってくれた支援がその何倍もあるそうです。

その年の暮れ、台湾で新聞社が「今年一年、あなたにとって最高の幸せは何でしたか?」というアンケートをとりました。この答えで1位になったのは「日本への義援金が一になったこと」でした。

台湾の人々の温かい支援を受けて、日本人はありがたい気持ちでいっぱいでした。でも台湾の人々は、その喜びの源となれたことに、さらなる幸せを感じていたのです。

世界的な遺伝子研究の権威である村上和雄先生は、「**遺伝子の研究からも、人間が最高の幸せを感じるのは、『自分が誰かの喜びの源になったとき』**だと分かった」と話されていました。

自分の時間を誰かの喜びに変えるために働き、相手が喜んでくれたのを感じて、自分も幸せになれる。

そのように、相手の幸せと自分の幸せが、まるでコインの裏表のように一体となっている労働観は、とても素敵だと思います。

私が航空会社に入社してすぐに受けた研修で、社外講師がこんな話をしてくれました。

「あなたが機内でお客様にコーヒーを頼まれたとします。機内のコーヒーは、喫茶店のように豆や入れ方にこだわっているわけではありません。いわば『たかが一杯のコーヒー』です。それがあなたの出し方一つで『されど一杯のコーヒー』になるのです。コーヒーをお出しするほんの一瞬に、あなたの生きざまが凝縮されます」

この言葉は、30年近く経った今でも忘れられません。この言葉を受けて、私は仕事を常に「**接遇道**」だと思ってきました。

「接客業」と思うとエンジンがかからないのですが、「**接遇道**」だと自分に言い聞かせた途端に、腰骨がピンと立ち、丹田に力が入り、エネルギーがわき起ってくるのを感じます。

「**道**」を大切にする日本人は、仕事を通じて自分の生き方を磨いてきたのだと思います。

先日、読んだ文章になるほどと思った事が書いてありました!!

人は心身を鍛える為に、武道などの道場に通ったり、仏門をくぐって座禅を組んだりと我が国には「道」という色々な環境に身をおいて

「心を磨き、自分を成長させる」

という考え方がありますが、皆が皆、現実を離れて特別な環境に身を投じなくても、私たちの日常すべてを「道場」と捉えた「**生活道**」という「道」があるという話です。その「**生活道**」での自分の鍛え方とはまず・・・

「朝、早起きして朝の時間を有効に利用する事」

「使った物は、元の場所に戻し散らかったらかたずける」

「宿などに泊まったりした時は入室した時より綺麗にして出る」

「本や映画も読みっぱなし～観っぱなしにせず記録を残す」

「支払いは喜んで請求書が来たらすぐ支払う事」

などなど具体的修行方法があり、中でも一番大切なのは「**後始末**」と書いてありました。

「**後始末の人生**」を心掛けると～色々な事が見え、気づいて

くるとの事・・・奥が深い!!

私も日常のすべてを楽しんで修行する「**生活道**」という考え方を
持って過ごしてみよう!!

考えてみると「生活道」には、どこかに通う必要もなく～月謝も不要
そのうえ自分の周りが整理整頓され綺麗になる!!

まさしくいいとこだらけ～皆さんもいかがですか(笑)

くすりのキュート 倉光 浩城

